

○ (仮称)札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業環境影響評価準備書について【1回目審議(R3.8.20開催)】

項目	委員名	意見等の内容	都市計画決定者回答
生態系	吉田委員	○ 緑化についてちゃんとやるということは非常に分かるが、この場所の開発に関しては、絶滅危惧種がいなくなることで、開発による生き物への負の影響のほうが重要と思う。緑化は面積を確保するだけでなく、何をやるかが大事でその影響を見てほしい。駅前なので、変な緑化をするとムクドリだらけになることが大いに考えられる。そのような将来的な根拠も持った上での影響評価を、今後ぜひ実施していただきたい。	○ 今後、緑化協議をしていく中で、指摘も含めて検討したい。
景観	小篠委員	○ 環境影響評価の長いプロセスの中で、駅前通の北街区の地区計画が最近変更になり、景観まちづくり指針が出ている。計画が進む中で地域ガイドラインを見直している。地域の変化や新しい計画により、駅前通、北街区の地区まちづくりガイドラインもできているが、そういったものにどう対応するか、動的に動く状況に対して、計画としてどう対応するか。 ○ この手続の中で、新しい計画にどうアジャストしていくかが検討されると理解してよいか。	○ ガイドラインについては、アセス手続が進んでいく中で、見直しや追加があることは承知している。準備書の中にも予測手順として示しているが、今回の環境影響評価手続と並行して、札幌市でさらに細かく景観に関して審議する場として、都市計画審議会後に設計段階の景観プレアドバイスがあるので、引き続き細かな部分については対応していきたい。 ○ そのとおり。あくまでも今の準備書の段階として反映できるものなので、今後出てくるものは、引き続き景観に関する手続の中で審議することを考えている。
	上田委員	○ スライドを提示いただいた54や、今後もフォトモンタージュなどで景観等の資料が出されるが、札幌の駅前通でビスタとしての景観が重要になる。この場所は、実際には南口の地上からの見通しだけではなく、札幌駅の上階からの駅前通の見通しが重要になってくるので、今後の景観評価でフォトモンタージュの写真などを提示するときに、上階のほうの視点場なども設定したほうがよい。ファサードに関する議論は、アセス手続ではなく景観アドバイスのほうでの議論があると思うが、視点の設定については、地上だけではなく札幌駅の上階も視点として設定してもよい。	○ 今考えているのは地上からだが、指摘のように少し高いところからの視点も重要と思うので、今後、検討、対応したい。
廃棄物等	近藤会長	○ 産業廃棄物の再資源化率について、完成後の再資源化率が20%と見積もられているが、私たちがふだん排出する家庭ごみの再資源率や、既存の施設から出る廃棄物の再資源化率に比べてどうか。	○ 再資源化率は、札幌市の廃棄物の再資源化率を基に設定しており、ほかの事例とは大きく変わらない。
温室効果ガス	奈良委員	○ 準備書の8.1.15-4ページに、コジェネの札幌市都心地区のことが詳しく書かれ、15-5ページの地図では、緑色の部分に都心地区の熱供給エリアが106ヘクタール、エネルギーセンターが五つあると書かれ、熱供給と範囲が分かりやすく書いている。緑色の106ヘクタールのエリアに、新たに今回の北4条と北5条が加わるが、現在、五つのエネルギーセンター、106ヘクタールで使っているエネルギーの何%ぐらいを供給して、エネルギーセンターが増えることにより、それぞれが全体の何%貢献できるということが書かれると分かりやすい。	○ 緑色の区域、都心地区の中で、新たに今回の北4西3地区と隣接する北5西1・西2地区にエネルギーセンターができることを想定しており、図の中に新たなエネルギーセンターとしてピンが打たれることになると考えている。どの程度を負担することについては今後検討を進めたいと考えている。